

室蘭工業大学-学報

NO.604



ロボットサッカーコンテストの様子（3ページに関連記事あり）

2020年 2月号

目 次

◇ 学内の動き ◇

大学改革セミナー「室工大未来塾」を開催……………	1
室蘭工業大学市民懇談会を開催……………	2
第26回（令和元年度）室蘭工業大学学長杯争奪ロボットサッカーコンテストを開催……………	3

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ……………	4
受託研究等の受入れ……………	4
奨学寄附金の受入れ……………	5
その他補助金の受入れ……………	6

◇ 人 事 ◇

人事異動……………	7
表彰……………	8

◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催……………	9
------------------	---

◇ 日 誌 ◇

学内行事……………	10
学外行事……………	10

学内の動き

大学改革セミナー「室工大未来塾」を開催

令和2年1月16日（木）に本部棟中会議室において、第11回大学改革セミナー「室工大未来塾」を開催しました。今回は、上海交通大学の過 敏意教授を講師に招き、「How Can Computer Science of SJTU be promoted to world class?～上海交通大学のコンピュータ科学をいかにして世界クラスに飛躍させるのか～」と題して講演

があり、役員をはじめ、大学運営に携わる教職員約30名が参加しました。

講演では、同大学が世界トップレベルとなるために行った戦略的取組について、具体的な実例を交えた紹介があり、参加者は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講演する過氏



受講者の様子

室蘭工業大学市民懇談会を開催

令和2年1月27日（月）に本部棟中会議室において、令和元年度室蘭工業大学市民懇談会を開催しました。

この懇談会は、大学が地域とともに発展するため、広く地域の方々と意見を交換することを目的として設置されているもので、公募による一般市民を含む室蘭近隣の教育界等からの委員7名及び傍聴者4名並びに本学の委員が出席しました。

懇談会に先立ち、董副学長より、ドローンを活用した災害時の通信回線に関する「耐災害マルチドローン緊急通信ネットワークの研究開発」について講演が行われ、引き続き、永野副学長と工学部 機械航空創造系学科3年の富山 航さんより、学生が地域企業から提示された課題に取り組む「地域企業参加型授業の成果 -北海道産業論-」について活動紹介が行われました。

その後、今回のテーマである「地域における大学の役割」について活発な意見交換がなされ、各委員からは、「(本学に) 地域の防災センターとしての役割を担って欲しい。」「市民ボランティアを活用して、大学の研究や事務をサポートしてもらえば、大学にも役立ち、市民も大学に愛着を感じてもらえるのではないか。」といった率直な意見、要望が出されました。



懇談会の様子

第26回（令和元年度）室蘭工業大学学長杯争奪 ロボットサッカーコンテストを開催

令和2年1月11日（土）、12日（日）の2日間にわたり、大学会館多目的ホールにおいて、第26回（令和元年度）学長杯争奪ロボットサッカーコンテストを開催しました。

このコンテストは、青少年の科学離れの解消や創造性育成を図るとともに、地域の活性化に資することを目的に、平成6年度から実施されています。

今年の参加チームは、室蘭市をはじめ、伊達市、札幌市、小樽市及び滝川市からの参加もあり、クラスA（小中学生を含むチームを対象とし、有線操縦ロボットによる競技）に11チーム、クラスB（小学生以上を対象とし、無線操縦ロボットによる競技）に11チーム、クラスC（自立移動ロボットによる競技）に5チームの計27チームでした。

競技は、クラスA及びクラスBについては、予選と本戦を行いました。予選はリーグ戦方式、本戦はトーナメント戦方式で、1個のボールを使って2台のロボットが制限時間内での得点を競う対戦競技を行いました。クラスCについては、あらかじめ定められた位置に置かれた8個のボールを制限時間内にシュートし、その総得点を競いました。

会場には連日多数の観客が訪れ、参加者の白熱した戦いを観戦していました。操縦者の巧みな操作で技ありのシュートが決まるたびに大きな拍手や歓声が上がリ、大いに盛り上がりました。

また、大会期間中の特別企画として、室蘭市立水元小学校の児童が描いたロボットの絵画展が行われ、会場を一層盛り上げました。



試合の様子

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額（千円）
もの創造系領域 教授 清水 一道	中 小 企 業	420
合 計（1件）		420

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額（千円）
しくみ解明系領域 教授 亀川 厚 則	大 企 業	4,697
合 計（1件）		4,697

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額(千円)
株式会社ドーコン	工学研究助成	330
株式会社アトリエブंक	工学研究助成	2,190
株式会社砂子組	工学研究助成	1,000
株式会社砂子組	工学研究助成	1,000
株式会社ツチヨシ・マテック	工学研究助成	300
はぐるま会	工学教育助成	50
株式会社三共合金鑄造所	工学研究助成	300
株式会社アトリエブंक	工学研究助成	2,251
新東工業株式会社	工学研究助成	2,000
合 計 (9件)		9,421

その他の補助金の受入れ

事業名	研究代表者・職・氏名	事業元	金額(千円)
2019年度研究助成	しくみ解明系領域 教授 中野英之	公益財団法人 泉科学技術振興財団	1,000
合計(1件)			1,000

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和2年2月1日	<p>〈採用〉</p> <p>大学院工学研究科助教（もの創造系領域）</p>	井 口 亜希人	日本学術振興会特別研究員P D
令和2年1月31日	<p>〈雇用期間満了〉</p>	千 葉 由 起	大学院工学研究科事務補佐員
令和2年2月1日	<p>〈採用〉</p> <p>地域協働機器センター事務補佐員</p>	品 川 亜衣子	
令和2年2月1日	<p>〈雇用期間更新〉</p>	横 山 有希子	大学院工学研究科事務補佐員

表 彰

板倉賢一特任教授らの研究グループがYoung Researcher Excellent Paper Awardを受賞

令和元年12月3日にYSRM2019 & REIF2019 Award の表彰式が行われ、本学の板倉賢一特任教授（しくみ解明系領域）及び高橋一弘助教（もの創造系領域）が所属するUCG研究グループが、Young Researcher Excellent Paper Awardを受賞しました。

この賞は、International Society of Rock Mechanics (ISRM) の特別コンファレンスとして日本の「岩の力学連合会」が主催した The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics (YSRM) と International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future (REIF) で発表された174の論文の中で、第一著者が35歳以下の特に優れた論文に与えられました。他に、Excellent Paper Award 1件、Young Researcher Excellent Paper Award 1件、Excellent Poster Award 2件の表彰がありました。この国際会議（開催地：沖縄）には、20か国、274名の参加がありました。

受賞内容は、次のとおりです。

【Young Researcher Excellent Paper Award】

<受賞者>

UCG研究グループ (Akihiro Hamanaka, Fa-qiang Su, Kenichi Itakura, Kazuhiro Takahashi, Junichi Kodama, Gota Deguchi)

<論文タイトル>

Large-scale Laboratory Experiment on Development of Underground Coal Gasification with Horizontal Well (6ページ)

鋳物シンジケートが「ものづくり地域貢献賞」を受賞

令和元年12月27日に「ものづくり地域貢献賞（北海道経済産業局長賞）」が発表され、本学の清水一道教授（もの創造系領域）が主導する特殊鋳物協同組合（鋳物シンジケート）が受賞しました。

この賞は、「ものづくり日本大賞」に応募があった中から、特に北海道地域の産業等に大きく貢献したものづくり人材を表彰するものです。「ものづくり日本大賞」は、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、「ものづくり」に携わっている各世代の人材のうち、特に優秀と認められる人材を顕彰するもので、経済産業省、国土交通省、厚生労働省、文部科学省が連携し、平成17年より隔年で開催しており、今回で8回目を迎えます。

学内会議

学内各種委員会等の開催

<12月25日～1月24日>

開催日時 令和2年1月9日（木）
会議名 第9回教育研究評議会

開催日時 令和2年1月14日（火）
会議名 第15回役員会

開催日時 令和2年1月14日（火）
会議名 第10回企画戦略会議

開催日時 令和2年1月16日（木）
会議名 第6回大学院専攻長会議

学内行事

- 1月11日(土) 第26回室蘭工業大学学長杯争奪ロボットサッカーコンテスト(12日まで)
- 1月15日(水) 講演会「Low-Cost Long-Range Localization for Internet of Things」
- 1月16日(木) 第11回大学改革セミナー「室工大未来塾」
- 1月16日(木) 講演会「Security and Motion Planning in Autonomous driving」
- 1月17日(金) 合格発表(大学院博士後期課程外国人留学生入試(国外出願第2次募集))
- 1月18日(土) 大学入試センター試験(19日まで)
- 1月20日(月) 講演会「HoMonit: Monitoring Smart Home Apps from Encrypted Traffic」
- 1月20日(月) 講演会「Coast Efficient Sensor Positions Determination For Human Activity」
- 1月23日(木) FD講演会「学習成果の可視化は誰のため?」—授業アンケートをやめた大阪府立大学が取り組んでいること—
- 1月23日(木) 講演会「Functional Materials for Energy and Biological Applications」
- 1月24日(金) 創造工学科・教授 酒井 彰 先生最終講義

学外行事

- 1月6日(月) 令和元年度室蘭工業大学留学生野外セミナー(登別市)
- 1月10日(金) 株式会社日本製鋼所との令和元年度第2回連携推進協議会(室蘭)
- 1月23日(木) 国立大学法人の予算等に関する説明会(東京)
- 1月23日(木) 令和元年度冬の進学相談会 in 東京(25日まで:東京)
- 1月24日(金) 「国立大学改革方針」を踏まえた文部科学省と国立大学との徹底した対話(東京)
- 1月24日(金) 国立大学法人等施設整備説明会(東京)

編集後記

◆ 教職員の皆様からの随想，提言等の御寄稿，あるいは学報への御意見，御希望，また，日頃感じていることなど多数お寄せくださるようお待ちしております。

(リンコム：総務広報課総務広報係，E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

- 編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014
- 印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308